



事務局ニュース

No. 130

日本ボーイスカウト
愛媛県連盟

防災キャラバンin新居浜

10月7日、イオンモール新居浜において、防災キャラバンを実施しました。
164名の来場者があり、万一の災害に備えて、5つのプログラムを体験していただきました。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| ① 救急コーナー | ストッキングを包帯に 土のうの作り方、積み方 |
| ② 試食コーナー | ビニール袋で作るカレーライス |
| ③ クイズコーナー | 災害対応カードゲーム「クロスロードゲーム」 |
| ④ 携帯トイレ作成コーナー | ダンボールで作る簡易トイレ実演 |
| ⑤ ロープコーナー | 災害時に役立つロープの使い方「もやい結び」 |
| ⑥ 映像コーナー | 愛媛ローバース作成動画 ボーイスカウト紹介動画放映 |



救急コーナー



試食コーナー



クロスロードゲーム



ロープコーナー

参加していただいた方の感想の一部を紹介します。

- 身近にある物が、いざというときに役に立つのだということに気付きました。普段から、準備をしておかなければいけないと思いました。
- 備えておくことも大切ですが、実際に被災した際に、身近にある物をどう工夫して使えばよいか考えるよいきっかけになりました。
- ロープの結び方を教えていただいたので、実際に生かしていきたいと思います。ろ過装置も意外と簡単な作りだったので、実際に帰って作ってみたいと思いました。
- クロスロードゲームで、防災について皆さんの考えを聞くことができよかったです。みんな同じ考えだと思っていましたが、一人一人違っていました。考えをどうまとめていくかが大切だと思いました。
- 防災・減災について、楽しく学ぶことができました。家族と話し合っ、防災について考えたいと思います。
- 改めて防災について、考えることができました。土のうやトイレなど、自分でもできそうなことがたくさんありました。難しく考えていた防災でしたが、工夫次第で簡単になるのだなと思いました。
- ビニール袋でカレーが作れるなんて、思ってもみませんでした。しっかりと味もあり、おいしかったです。家でも試してみたいと思いました。
- 家で電気や水が使えないときに、避難場所等で食べ物やトイレを作らないといけない。命を守るためにどうすればいいかを考える、とてもよい機会だったので、このような会に、次も参加して身に付けたいと思います。
- 防災について、いろいろなことを学んでおくことは、自分や周りの人にとって、とても大切なことだと感じました。災害になったときも、周りの方々と支え合いながら、乗り越えたいと思います。とても貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。



BS野営法を活かした避難所体験

スカウト運動維持財団の助成を受けて、松山第15団が、10月14日、余土公民館でボーイスカウト野営法を活かした避難所体験を実施しました。

段ボールを使って間仕切りや簡易ベッド等の工作、火を使わない非常食づくりや代用調理器具による非常食づくりを行い、もしものときに備える手立てを学びました。



ダンボールで、かべや机が作れるとは思いませんでした。避難したときに役立てたいです。

おなべを使わずに料理ができたので、びっくりしました。おいしいかなと思って食べてみたら、とてもおいしかったので、二度びっくりです。家でも試してみようと思いました。

間仕切りや机が、ダンボールで簡単に作れました。家の人にも教えてあげたいです。



今年は、7月豪雨災害や大阪北部地震、北海道胆振東部地震などの自然災害がありました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。防災キャラバンや避難所体験など通して、防災・減災について、これからも考えていきましょう。